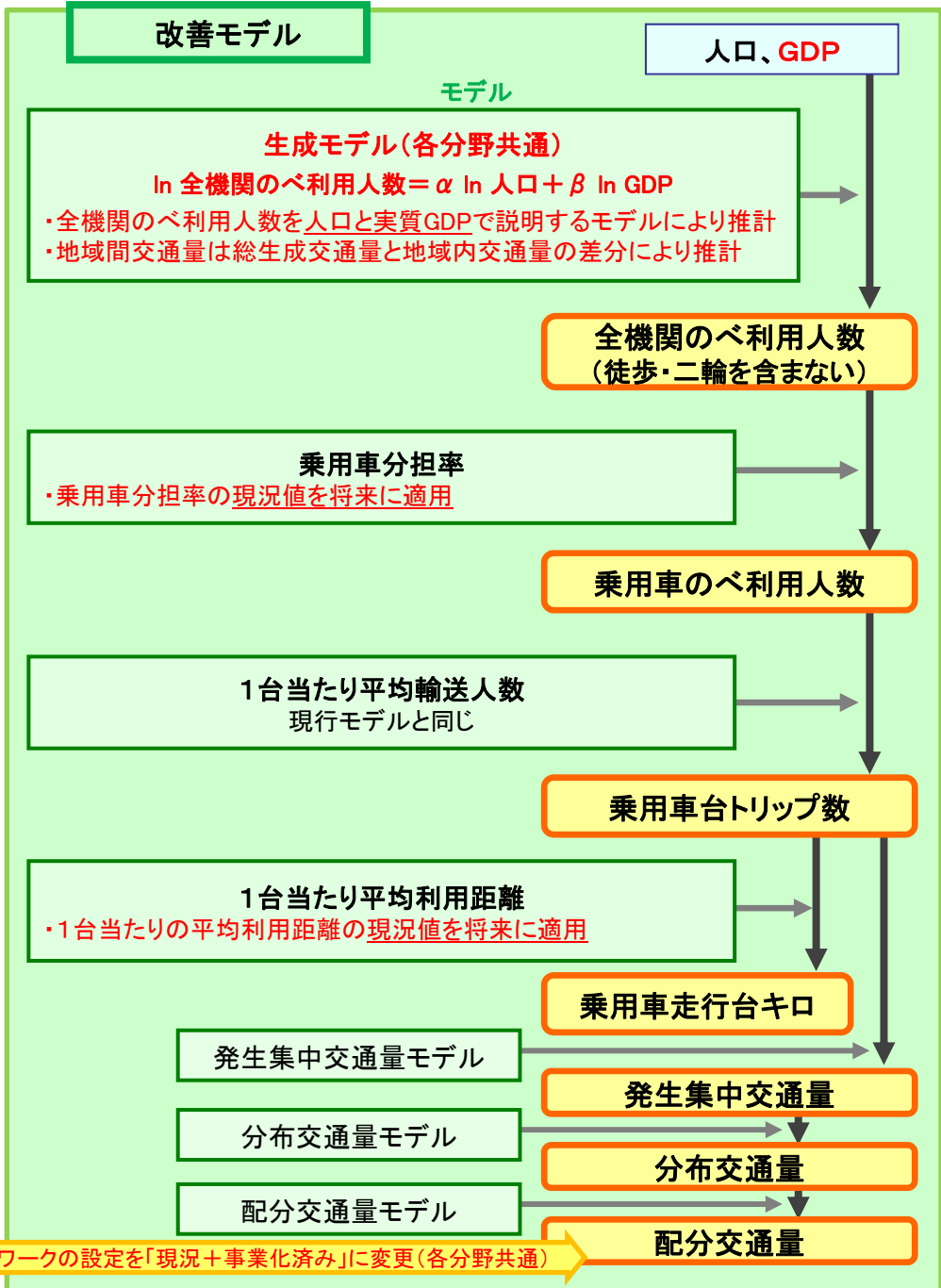
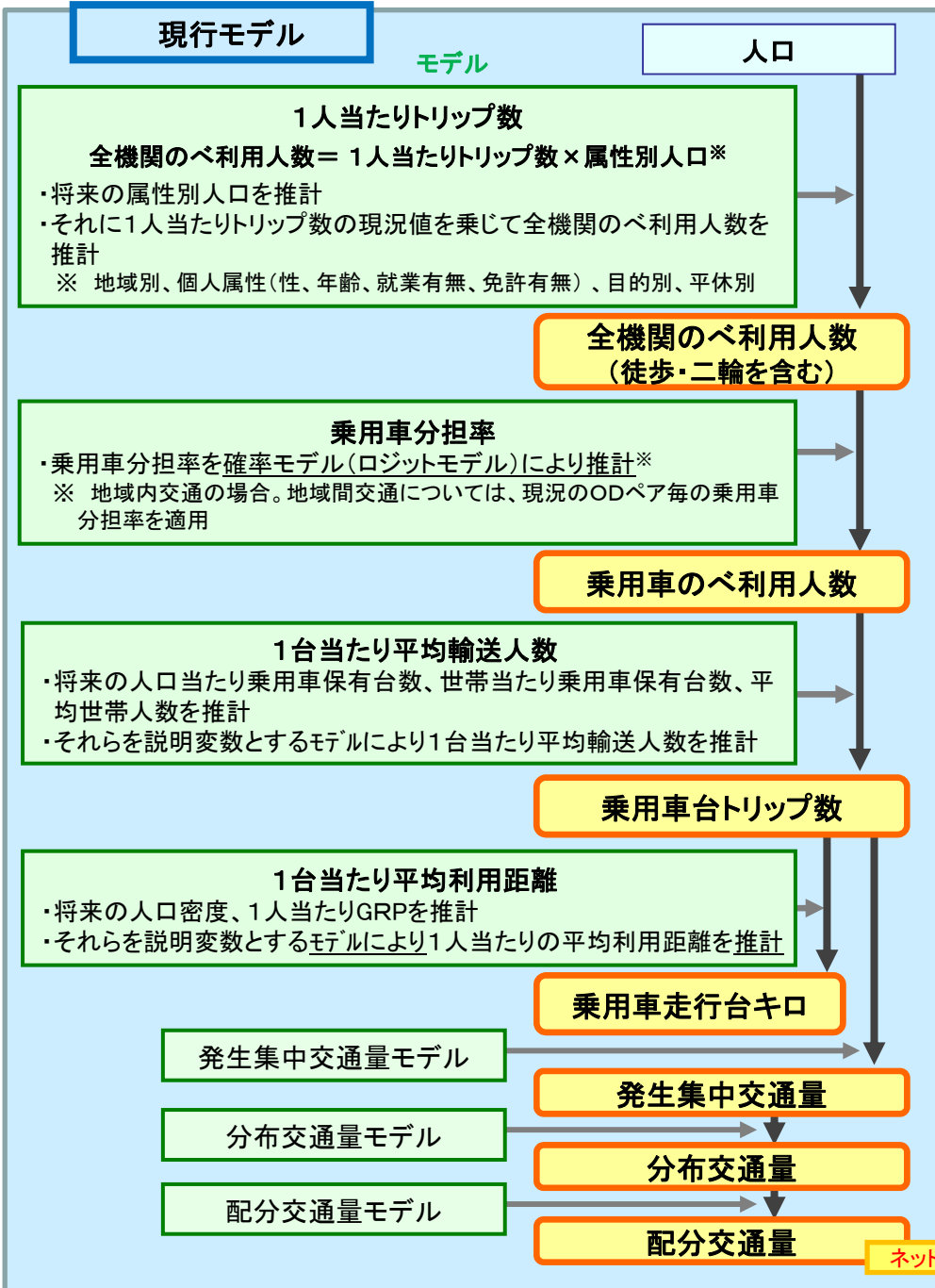
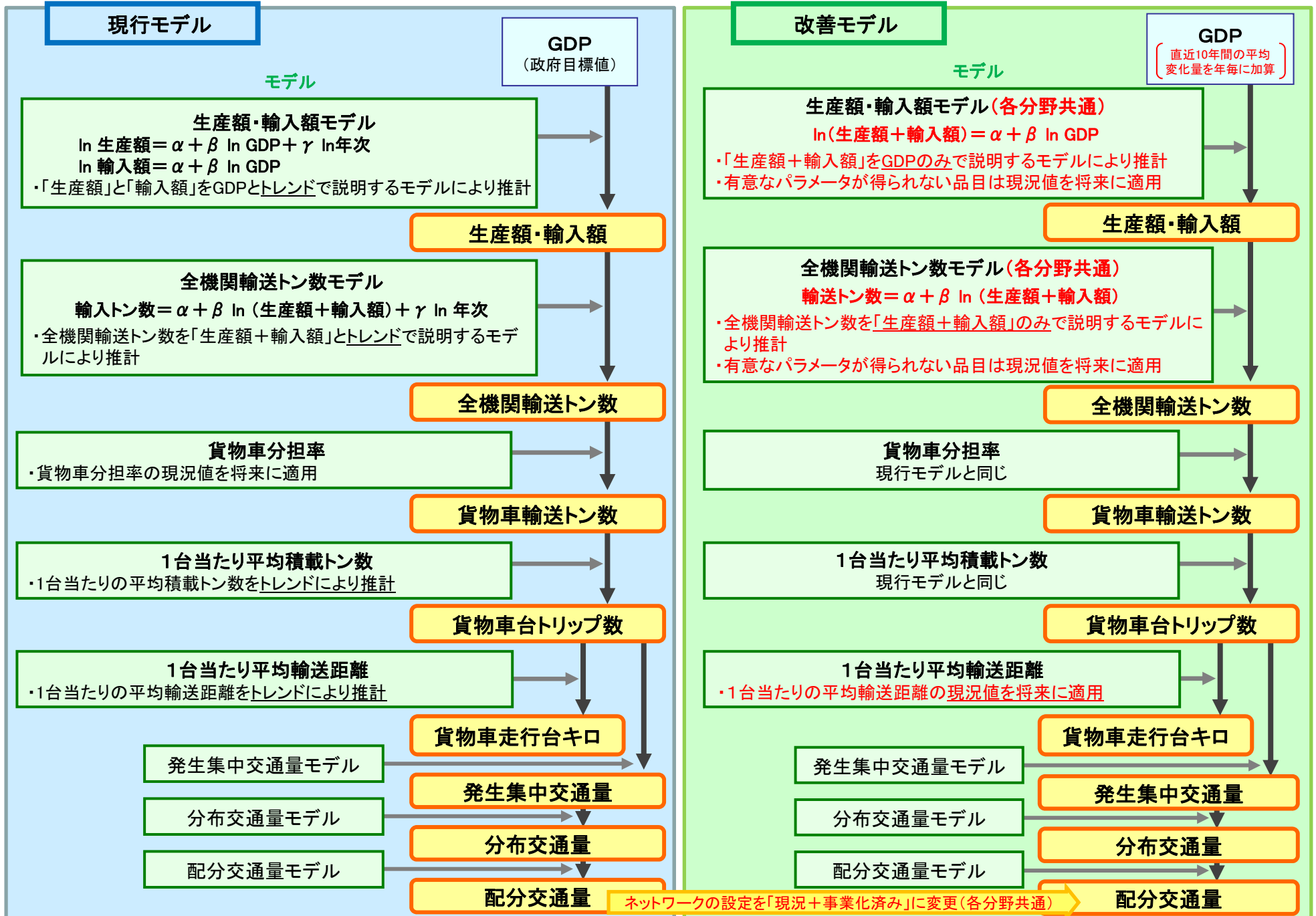


道路(人の移動)における改善点



道路(物の移動)における改善点



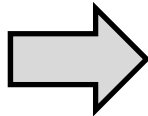
鉄道における改善点

第1段階での改善点

1. 生成モデルの改善

改善前

人口・1人あたり
GDPを使用する
モデル



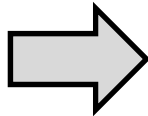
改善後

人口・GDPを使用
するモデル

2. 発生モデルの改善

改善前

人口・1人あたり
GRPを使用する
モデル



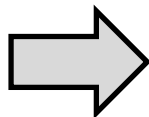
改善後

人口・GRPを使用
するモデル

3. ACC(アクセシビリティ指標)の削除

改善前

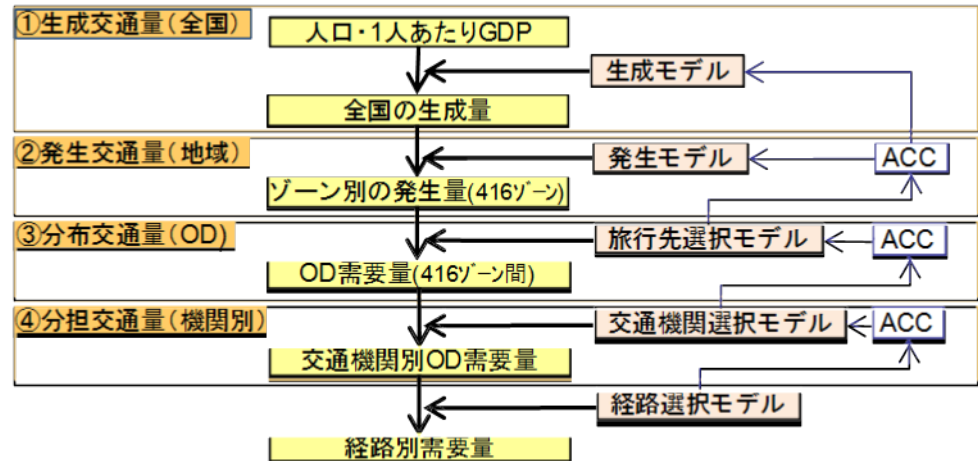
生成量・発生量の
推計についてACC
を考慮



改善後

生成量・発生量の
推計についてACC
を削除

推計手法のフロー図



第一段階の改善

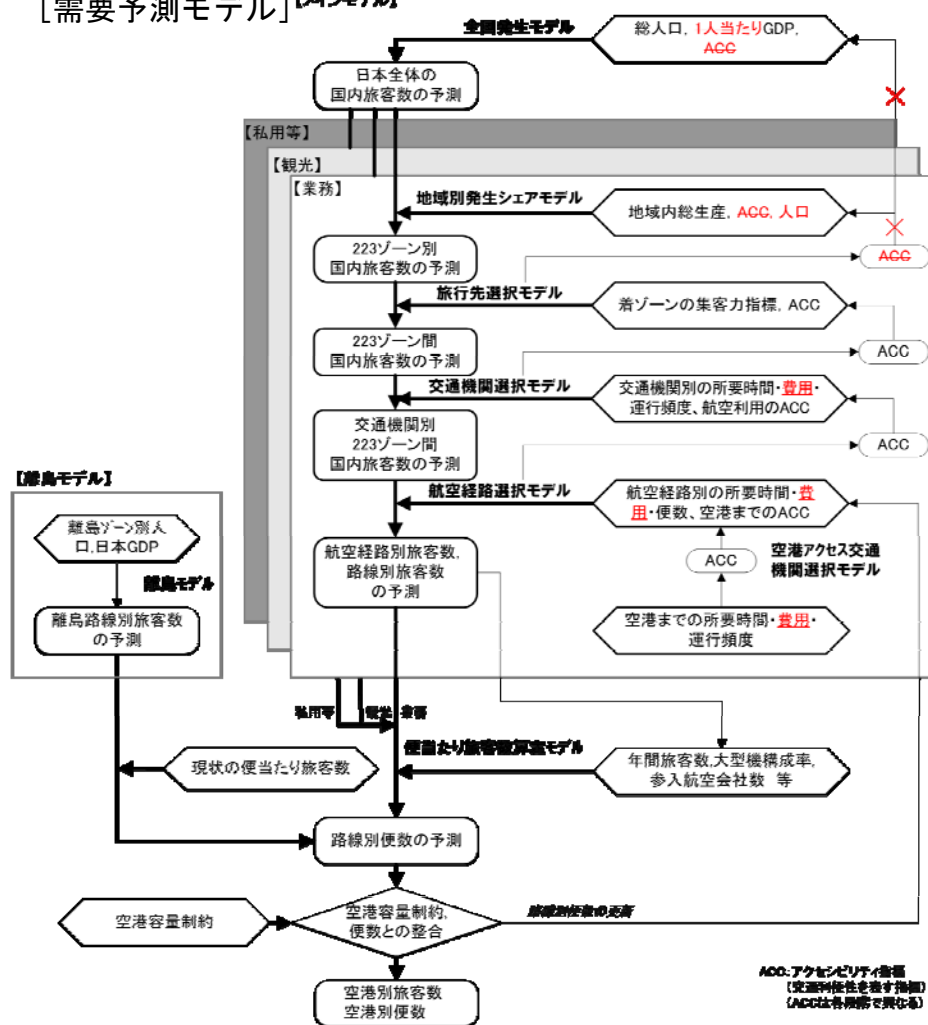


航空旅客における改善点

第一段階の改善では、既存の航空需要予測手法をベースに、

- ①全国発生モデルの分野横断的な統一
- ②地域別発生シェアモデルの説明変数等の精査
- ③交通機関選択モデル等における割引を考慮した運賃水準(実勢運賃)の考慮
- ④将来需要推計の前提条件とする将来フレームや交通サービス指標等の分野横断的な統一を行った。

【需要予測モデル】**【メインモデル】**



①全国発生モデル

- ・全国発生量は、総生成交通量と地域内々交通量の差分として推計
- ・ゾーン間200km以上シェアを考慮
- ・説明変数を「人口」「GDP」の2変数とし、アクセシビリティ指標 (ACC) を除外

②地域別発生シェアモデル

- ・基本的な説明変数を「人口」「GRP」の2変数とし、ACCを除外

③交通機関選択モデル等

- ・割引を考慮した運賃水準 (実勢運賃) の考慮
- ※第二段階の改善以降に適用

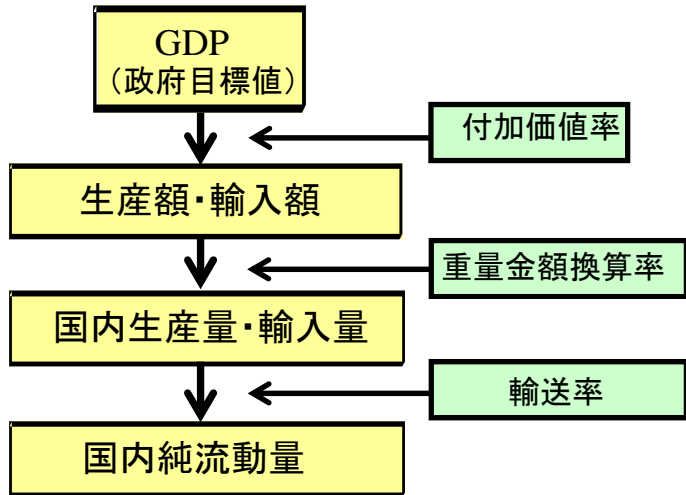
注) 既存の航空需要予測手法 (「航空需要予測について」 (国土交通省国土技術政策総合研究所)) の需要推計フローに加筆

港湾における改善点

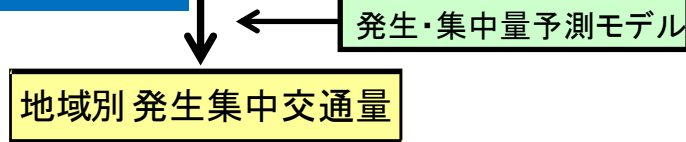
（「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」における取扱貨物量の需要推計手法）

現行モデル

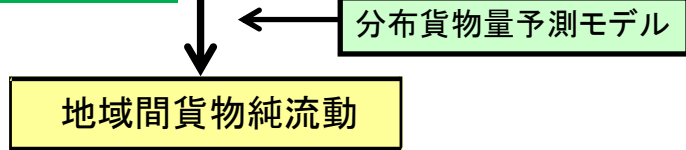
①生成交通量



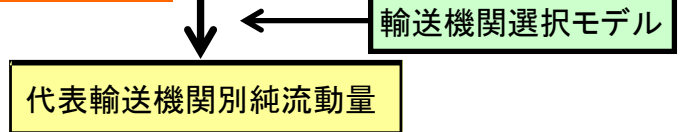
②発生交通量



③分布交通量



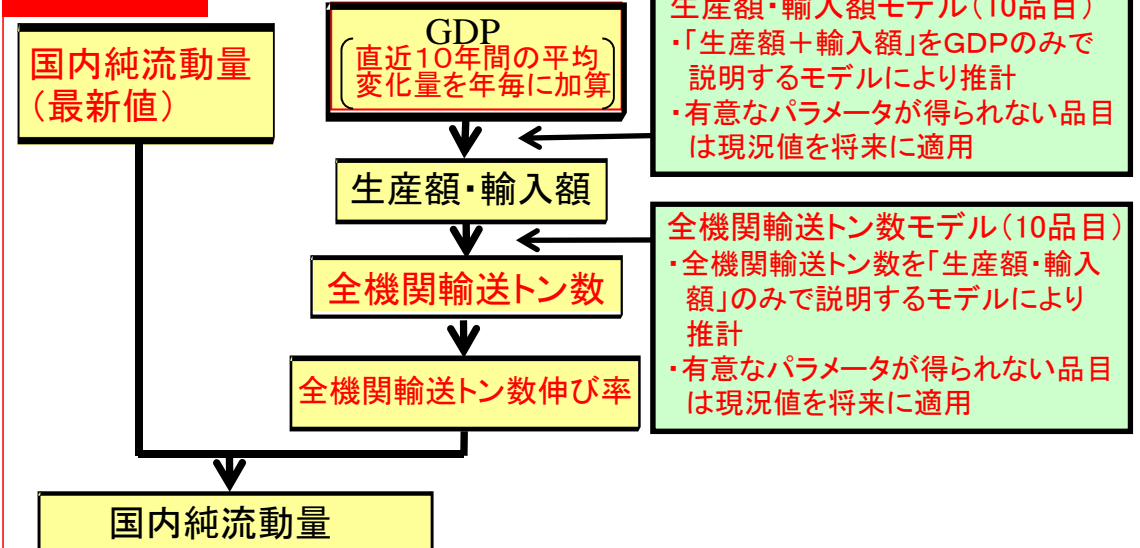
④分担交通量



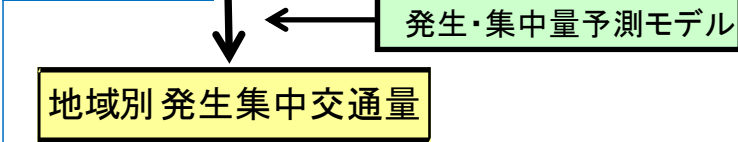
改善モデル

※赤字が改善部分

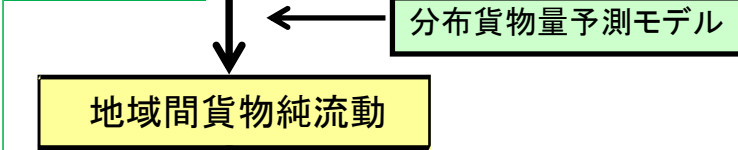
①生成交通量



②発生交通量



③分布交通量



④分担交通量

